

第8回健康日本21安城計画策定委員会 議事録

日時：令和7年2月5日（水）
午後1時30分から2時30分まで
場所：安城市役所 第10会議室

出席委員：岡本雅彦、大場茂、服部宏明、神谷明文、杉浦正之、深谷啓子、黒柳厚子、吉本敦、石原隆義、岩井初幸、渡辺陸絵、柴田さわ子、神谷由美子、鈴木盛久、瀬戸井明人、矢羽々みどり、山下和美（敬称略）

助言者：愛知医科大学 坂本真理子教授（リモート参加）

事務局：子育て健康部長、子育て健康部次長、健康推進課長、健康推進課主幹、健康推進課課長補佐、予防係長、健診係長、保健指導係専門主査、健康推進係担当、委託業者株式会社サーベイリサーチセンター名古屋事務所 担当

傍聴人：1名

＜議事次第＞

- | |
|--|
| 1 会長あいさつ |
| 2 議題 |
| （1）パブリックコメントによる意見募集の結果及び第3次健康日本21安城計画案について |
| （2）市長答申について |
| 3 その他 |
| 4 講評 |

（事務局）

本日、進行を務めさせていただきます、子育て健康部長の大見と申します。よろしくお願いいたします。着座にて失礼します。本日の資料につきましては事前に送付させていただいておりますが、お持ちでない方、お見えになりますか。

本会議は、安城市市民参加条例第9条第4条に基づき、市民の傍聴をお受けしております。本日、傍聴の方が1名お見えになっておりますので、ご報告いたします。なお、会議の議事録につきましても安城市のホームページにて公表いたしますので、あらかじめご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

それでは開催にあたりまして、岡本会長よりご挨拶をよろしくお願いいたします。

1 会長あいさつ

皆さん、こんにちは。お忙しいところ、また非常に今年一番の寒波の中、時間までにお集まりいただきましてありがとうございます。安城でも昨日少し雪がちらついておりましたし、他の地域では本当に大変な状況になっているところもあるようでございますが、本当に寒さにはお気をつけいただきたいと思います。

本日は、今年度最後ということで、この健康日本21安城計画、来年度から12年間の非常に

壮大な計画を決める最後ということで、パブリックコメントを募集したところ、1名からですが非常に多くの内容でいただきました。今日報告等がなされると思います。また、計画案の最終決定となりますので、ご意見のほどよろしく願いいたします。それではよろしく願いします。

(事務局)

ありがとうございました。本日ご欠席のご連絡はございませんのでご報告させていただきます。

規則第4条第2項に規定します、委員の半数以上に達しておりますので、策定委員会は成立をしております。

また、助言者の愛知医科大学坂本教授におかれましては、本日はリモートでのご参加をいただいておりますので、よろしく願いいたします。

これより、議題の審議に入らせていただきます。ここからの進行につきましては、岡本会長に議事を進めていただきます。よろしく願いいたします。

2 議題

(会長)

それでは始めていきたいと思えます。まず議題1です。

パブリックコメントによる意見募集の結果について、それから第3次の健康日本21安城計画案ということで、事務局の方からご説明をお願いいたします。

(事務局)

<資料1-1、1-2について説明>

(会長)

はい。ありがとうございました。

パブリックコメントの内容ですね、それから、この計画案の修正ということでご報告いただきました。何かご質問とかご意見はありますか。

(委員)

膨大なパブリックコメントの質問、回答、お疲れ様でした。

質問の形式を見ていると、全部機械的に当てはめているように感じます。これは本当に人が作っているのだろうか。その辺の検討はいかがでしょうか。

(会長)

このパブリックコメントの質問が、機械的に作られたのではないかといいことですね。

要は今後将来的にAIに質問を作らせて出してくることが考えられるので、どのように対応していくかという。

(委員)

ワンパターンというのはわかるのですが、なんとも言えないがすべて同じパターンというの
はありえないと思ひまして。答える必要があるのかと思ひまして。

(事務局)

質問内容がどのように作られたのかはわからないです。

(会長)

相当部分に中身がないように感じますが、出てきたものに対して答えるというのが、筋なの
で答えないと仕方がないですね。その他いかがでしょうか。

(委員)

漠然とした質問で恐縮です。今、こどもたちの家庭環境や生活環境が大分変わってきていま
す。昔ですと、乳幼児は家庭にウエイトが大きかったと思ひますが、現状を踏まえますと、乳
幼児期から保育園や幼稚園、それから学童保育と、家庭で占める時間よりもそのようなところ
に預けられている時間が非常に増していると思ひます。特に学齢期の子供たちに関して、どこ
が重きを置いてこどもたちの健康づくりに取り組んでいるのか、そういったところにもこども
たちの健康に関する配慮をどのような形で行っているのかを知りたいと思ひました。

(事務局)

ありがとうございます。お子さんの過ごされる場所によってどのような形でアプローチを、
ということによろしいでしょうか。

(委員)

私は保育園の近くに住んでいるのですが、7時ぐらいにご父兄が保育園に見えて預けて行かれ
て、おそらく12時間近く保育園に預けて、家庭にいる時間はかなり少ないと思ひます。幼稚園
に行っているお子さんは事情が違いますが、小学校に入っても、低学年になれば、学童に通う
子もいますし、親御さんが育てると、それからそのような施設でこのようなことをどのよう
な投げかけで、現在周知が行われているのかを知りたいと思ひました。

(事務局)

就園前までについて主に保健センターに個々に関わることは多くあると思ひますが、就園
後については、就園先の主に市役所内ですと保育課と連携をしてアプローチを一緒に考えてみ
ることや、子ども発達支援課と連携をし、個々のケースのアプローチをさせていただいていま
す。また、この先、学校教育課の方に繋がっていくかと思ひますので、学校との連携を、保健
センターから直接学校に出向いていくような事業もございます。そういったところで、学校が
主に大きなウエイトを占めていくので、そことの連携となっています。

(委員)

情報としては預けられている施設から、各ご家庭にこういったことを周知していくような形態になっていくということでしょうか。

(事務局)

そうですね。

(委員)

わかりました。

(会長)

ありがとうございます。他にご質問何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

今までもずっと議論してきました内容ですし、パブリックコメントに対しても十分お答えをされていると思います。今回の修正案も文言や間違いの修正ということでございますので、特に大きな問題はないかと思いますが、よろしいでしょうか。

それではよろしいようでしたら、この議題1について、この計画書案が最終案となりますので、これでお認めいただける方は挙手をお願いいたします。

ありがとうございます。議題1と、計画書案については承認とさせていただきます。

それでは議題2の市長答申案について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

〈資料2について説明〉

(会長)

この意見、計画書案、最終のものを2月18日に市長にお伝えするということですが、よろしいですか。

では、この答申についてお認めいただければ挙手をお願いいたします。

ありがとうございました。それでは、承認とさせていただきます。

第3次の健康日本21安城計画ですが、すべての審議が終了となります。

長い期間にわたりましてご審議いただきありがとうございました。

それでは本日の議題につきましてはこれで終わりとなりますので、事務局の方にお返ししたいと思います。

3 その他

(事務局)

誠にありがとうございました。

それでは、3その他について事務局より説明をさせていただきます。

(事務局)

その他として、計画書の巻末資料について一部ご紹介をさせていただきます。

計画案につきましては、パブリックコメントを得たものを提出いたしますが、審議の対象となっていない巻末資料としまして、前回項目のみお伝えしていたものを簡単にご紹介します。

掲載する内容は6つございます。

まず1つ目は指標一覧です。指標は延べ58項目ございます。各分野にて掲載しているものをまとめて巻末に掲載いたします。

2つ目は事業所、関係団体との意見交換、ヒアリング調査の結果です。

昨年度、第2次いのち支える安城計画の内容と同時に各団体に10回に渡り実施をしましたヒアリング結果について、本計画でも掲載をしております。

3つ目は、健康日本21安城計画策定委員会規則でございます。

4つ目は、議員名簿になります。

5つ目は、策定経過です。策定経過は昨年度からご審議いただきました、健康日本21安城計画の部分を掲載しております。

6つ目として、用語集でございます。計画書内の用語について、専門的なものやわかりづらい用語の解説をつけてまいります。

今回策定する計画書に合わせて、概要版を作成する予定をしております。

概要版については計画書と同様に完成後、委員の皆様にお配りをさせていただきます。市公式ウェブサイトにも掲載をいたします。また、機会をとらえて啓発等周知をいたします。

最後に、第3次計画のロゴマークの紹介させていただきます。こちらが新しいロゴマークになります。ロゴマークのコンセプトとしましては、活力やエネルギーをイメージするオレンジ色と、生命力や調和をイメージする緑色を掛け合わせ、市民の健康づくりを個人だけでなく、社会、地域全体で取り組むという思いをこめています。今後、各種チラシや封筒などにロゴマークを掲載し、PRして参りたいと考えております。説明については以上でございます。

(事務局)

今の件につきまして何かご質問等ありますでしょうか。

はい。ありがとうございます。

それでは最後になりますが、助言者の愛知医科大学教授、坂本真理子先生より、ご講評をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

4 講評

(愛知医科大学 坂本真理子教授)

岡本会長をはじめとする委員の皆様お疲れ様でした。

昨年の6月30日より現在に至るまで、非常に長い期間に渡る計画策定でしたが、様々な意見をいただきましてありがとうございます。

計画策定に必要な作業を計画通りに進めてくださいました事務局の皆様本当にお疲れ様でし

た。日常業務に加えての計画策定の作業というは大変な業務量であったと思いますので、心より感謝いたします。

本来ならば、最後の委員会ですので、直接皆さまにお伝えしたいなと思いましたが、リモートでの参加となりまして申し訳ございません。

第3次健康日本21安城計画の策定では国や県の動向を踏まえた上で、安城市の健康を取り巻く現状分析、第2次健康日本21の指標に沿った最終評価としての情報共有をし、各分野でご活躍されています委員の皆様からご意見をいただいた上で、この度の第3次健康日本21安城計画案を策定し、パブリックコメントをいただくプロセスをたどりまして、本日を迎えた状況となります。国は第3次健康日本21の策定におきまして、すべての国民がすこやかにこころ豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、誰ひとり取り残さない健康づくり、より実効性をもつ取組の推進に重点を置いています。健康寿命の延伸と健康格差を縮小すること、個人の行動と健康状態の改善をすること、社会環境の質を向上させること、ライフコースアプローチという6つの基本的な指針を示しておりました。

この第3次健康日本21というのは、第2次計画の内容を引き継ぎつつ、より一層社会環境を重視すること、そしてライフコースアプローチといった視点を新たに取り入れたというところが特徴だったと思います。安城計画の中でも安城市の健康実態を踏まえながら、国の方針をうまく取り入れて、わかりやすい政策になったと思っています。ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりという生涯にわたる長期的な姿勢を基本としまして、一人ひとりの行動と健康状態の改善、自然に健康になれる健康づくり、ライフステージに着目した健康づくりという3つの基本方針を基に分野ごとの取組を整理していただいていたと思います。

この3つの基本方針は、それぞれが影響しあっているということがすごく大事なことだったのではないかと思います。3つの基本方針は、それぞれがしっかりとそしてうまく影響しあってこそ、人々の健康が促進されるものと思っています。健康づくりの取組というのは1年、2年ではありません。今回は12年の計画ですが、長期にわたった計画になりますので、計画を進める過程で、ともすれば個別の活動が上手くいかない、伸び悩むということがあるかもしれません。その場合はぜひ、基本方針の構造を頭において活動を振り返っていただくと、解決のヒントが見つかるかと思っています。

また、それぞれの活動がどうつながっていくのだろうと考えるのが大事なのではないかと思います。第2次健康日本21安城計画の時に新型コロナウイルス感染症という大きな世界的な病気が生じました。この健康危機は想像以上に長い期間にわたりその影響は幅広い分野に及んだと思います。世界的に健康にここまで影響力があったこれまで経験したことのないことだったかと思っています。そして第3次健康日本21安城計画の期間にも予期せぬ健康危機が生じない保障はどこにもないのですが、関係機関の皆様、そして地域の皆様が力をあわせて健康づくりを活性化できる状況を作っていくこと、一人ひとりが健康をコントロールしていく力をつけていくこと、そして次のステージを健康に過ごしていけるための力をつける取組、この3つはたとえ健康危機が生じて、それをしなやかにたくましく乗り越えていく力になるのではないかと思います。

今回の策定委員会の委員の皆様は、実に多様な分野から参画されております。会議をきっかけとして、安城市の皆様健康に関わる取組を多方面から盛り上げていただきますよう期待し

ております。

最後になりましたが、健康日本 21 安城計画策定委員会の皆様、安城市役所子育て健康部健康推進課の皆様の今後ますますのご発展を心からお祈りしております。遠いところから本当に申し訳ございませんでした。

(事務局)

坂本先生、誠にありがとうございました。

それでは、今回の議題等につきましてはこれですべて終了となります。ご審議どうもありがとうございました。

健康日本 21 安城計画につきましては、先ほど説明がありましたように、この後、市長への答申を経て確定して参りますが、本策定委員会の会議は本日が最後となります。

委員の皆様には、昨年度から、いのち支える安城計画の第 2 次計画と、健康日本 21 安城計画の第 3 次計画の策定に向け、ご尽力を賜りました。誠にありがとうございます。

本市では今後、これらの計画をもとに、安城市民のこころとからだの健康づくり、並びに維持増進に向けて精力的に取り組んで参りたいと考えております。

委員の皆様におかれましてはそれぞれのお立場で引き続きご支援ご協力をいただき、見守っていただきますことを切にお願い申し上げます。

それでは皆さん、2 年間にわたり、誠にお世話になりました。ありがとうございました。